

特殊詐欺被害と相談状況抜粋(令和8年7月中認知)

番号	種 別	被害関係	情報提供者 被害者	手段 相手方	相手方の文言等
1	SNS型 投資詐欺	【発生日】 1月19日 【場所】 伊予郡 松前町	60歳代 男性	SNS ①日本人男性を名乗る アカウント ②日本人女性を名乗る アカウント (被害額:約650万円)	令和8年1月19日、被害者がスマートフォンのSNSで投資に関する広告を見ていたところ、別のSNSへ誘導され、日本人男性を名乗るアカウントを登録した。 男性アカウントとSNS上でやり取りをしていたところ、日本人女性を名乗るアカウントを追加するよう指示を受け、アカウント登録した。 女性アカウントから、「優良な個別銘柄情報を無料で共有します。」などと言われ、提供された株式情報を元に、男性が以前から利用していた証券会社と取引したところ、利益が出たため、男性はこのアカウントを信用した。 その後、女性アカウントの指示で投資専用アプリをダウンロードして株式投資を始めたところ、アプリ上で利益が出た。 被害者がこの利益を出金しようとしたところ、女性アカウントから、「手数料が必要です。」「リスク回避のため保証金が必要です。」などと言われ、女性アカウントの指示した口座に合計約650万円を振込み、騙し取られた。
2	二セ警察詐欺	【発生日】 7月8日 【場所】 八幡浜市	20歳代 男性	携帯電話 ①県外の警察官を名乗る男 ②担当の刑事を名乗る男 (被害額:134万円)	被害者の携帯電話に、「070」から始まる携帯電話番号から電話があり、県外の警察官を名乗る相手方から、「あなたに特殊詐欺の疑いがある。」「あなた名義のカードで詐欺の被害が出ている。」などと説明された。 男性は、事件に関わっていないと説明したが、電話相手が担当の刑事を名乗る男に代わり、「取調べをする必要がある。」という理由で、SNSのビデオ通話に誘導された。 被害者は、刑事を名乗る男に、「他の人に知られたらいけない。」「理由を聞かれても話してはいけない。話したら逮捕しなければならなくなる。」と言われた。 さらに、刑事を名乗る男から、「あなたが犯人かどうかを確認するために、あなたの口座から警察が指定する口座に振り込んで欲しい。振り込めば、取引IDからあなたが犯人グループかどうか分かる。」と言われ、相手に指定された口座に34万円を振り込んだ。 その後、刑事を名乗る男から、「犯人でないことは分かった。しかし、あなたの個人情報が悪用されており、あなた名義で消費者金融からお金が借りられている。」「個人情報情報を消去するため、実際に消費者金融でお金を借りて振り込まないといけない。」と説明された。 そして、相手の指示どおり消費者金融から合計100万円を借用し、指定された口座へ振り込んで騙し取られた。
3	架空請求詐欺	【発生日】 7月15日 【場所】 西条市	80歳代 女性	携帯電話 サイバーセキュリティ保護 委員会を名乗る男 (被害額:130万円)	7月15日、被害者の携帯電話に「+」から始まる国際電話番号で、サイバーセキュリティ保護委員会を名乗る男から電話があり、「電話利用料金の未払いがある。このままでは裁判沙汰になる。」などと説明された。 これを信用した被害者は、相手が指定する口座に30万円を振り込んだ。 その後、相手から、「振込みを確認したが、もう少し必要だ。」「振り込んでもらえれば返金がある。」「手数料が必要になった。」などと説明され、相手の指示どおり、合計100万円を振込み騙し取られた。
4	郵便局員かたり ↓ 警察官かたり	【発生日】 7月17日 【場所】 松山市	40歳代 男性	携帯電話 ①物流ソリューションを名乗る男 ②警察官を名乗る男	①「あなたが中国に送ろうとしている荷物の中に、パスポートとキャッシュカードが入っていました。」「あなたの個人情報勝手に利用されているので、警察に相談した方がいいです。このまま警察に直接電話をつなげることもできますが、どうですか。」 ②「本人確認をしたいので、ビデオ通話をします。」
5	郵便局員かたり	【発生日】 7月22日 【場所】 松山市	60歳代 男性	携帯電話 郵便局員を名乗る男	「あなたの荷物が税関で差し止められており、中身を確認したところ、キャッシュカード8枚と現金が入っていました。心当たりはありますか。」「手続きのため、関西国際空港に電話をしてください。」